

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 9 月 3 日

横浜地方裁判所第 3 民事部

裁判所書記官 西 村 克 己

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 10 月 6 日から 令和 8 年 10 月 13 日 午後 5 時 00 分まで	
開札期日	日 時	令和 8 年 10 月 20 日 午前 10 時 00 分
	場 所	横浜地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時	令和 8 年 11 月 2 日 午後 1 時 10 分
	場 所	横浜地方裁判所第 3 民事部
特別売却 実施期間	令和 8 年 10 月 26 日 午前 10 時 00 分から 令和 8 年 10 月 26 日 午後 3 時 00 分まで	
買受申出の保証の 提供方法		下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所所定の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、株式会社商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 33 条)		☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8 年 9 月 3 日から当庁物件明細等閲覧室に備え置きます。		



913

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	7,960,000 6,368,000	一括	1,592,000	28,609	6,130
1	4,500,000				
2	3,460,000				
				</	



物 件 目 録

1 所 在 横浜市緑区白山一丁目

地 番 364番2

地 目 宅地

地 積 462.55平方メートル

共有者 A 持分10000分の554

2 (一棟の建物の表示)

所 在 横浜市緑区白山一丁目364番地2

構 造 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建

床 面 積 1階 223.98平方メートル
2階 223.98平方メートル
3階 223.98平方メートル
4階 223.98平方メートル

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 白山一丁目364番2の15

建物の名称 403号

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 4階部分 47.59平方メートル

所有者 A



物 件 明 細 書

令和 8年 6月22日

横浜地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 西 村 克 己

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号2】

管理費等の滞納あり。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等が全て本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

1 所 在 横浜市緑区白山一丁目

地 番 364 番 2

地 目 宅地

地 積 462.55 平方メートル

共有者 A 持分 10000 分の 554

2 (一棟の建物の表示)

所 在 横浜市緑区白山一丁目 364 番地 2

構 造 鉄筋コンクリート造陸屋根 4 階建

床 面 積	1 階	223.98 平方メートル
	2 階	223.98 平方メートル
	3 階	223.98 平方メートル
	4 階	223.98 平方メートル

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 白山一丁目 364 番 2 の 15

建物の名称 403 号

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 4 階部分 47.59 平方メートル

所有者 A



令和8年(ケ)第65号
令和8年4月30日受理
令和8年5月28日提出

現況調査報告書

横浜地方裁判所
執行官 宮 脇 元 彦

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 所 在 横浜市緑区白山一丁目
 地 番 3 6 4 番 2
 地 目 宅地
 地 積 4 6 2 . 5 5 平方メートル
 共有者 A 持分 1 0 0 0 0 分の 5 5 4

2 (一棟の建物の表示)

所 在 横浜市緑区白山一丁目 3 6 4 番地 2
 構 造 鉄筋コンクリート造陸屋根 4 階建
 床 面 積 1 階 2 2 3 . 9 8 平方メートル
 2 階 2 2 3 . 9 8 平方メートル
 3 階 2 2 3 . 9 8 平方メートル
 4 階 2 2 3 . 9 8 平方メートル

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 白山一丁目 3 6 4 番 2 の 1 5
 建物の名称 4 0 3 号
 種 類 居宅
 構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建
 床 面 積 4 階部分 4 7 . 5 9 平方メートル
 所有者 A

不 動 産 の 表 示	「物件目録」のとおり		
住 居 表 示	横浜市緑区白山一丁目 1 1 番 4 0 - 4 0 3 号		
建 物	物件 2		
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる（ ☐ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種 類： ☐ 構 造： ☐ 床面積：		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種 類： 構 造： 床面積：		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を 住居 として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の土地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）		
管理費等の状況	（月額） 管 理 費 9,900円 修繕積立金 10,890円 円 円	令和 8 年 5 月 2 0 日 現在 ☐ 滞納はない ☒ 滞納がある 令和 6 年 7 月 分～令和 8 年 5 月 分 合 計 478,170円 ☐ 不明	
管理費等照会先	株式会社大京アステージ 電話 ()		
その他の事項			
土 地	物件 1		
現 況 地 目	☒ 宅地（物件 1 ） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）		
形 状	☒ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地共有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に上記区分建物を所有し、一棟の建物の敷地として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある [地方裁判所 支部 平成 年 () 第 号 保管開始日 平成 年 月 日		
土地建物の位置関係	☒ 建物図面（各階平面図）のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり		

（注）チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ A (債務者兼所有者)	1 目的建物には私と家族が居住している。 2 洋室2の西側の壁に大きな穴があいている。また、同室の窓ガラスにひびが入っている。 3 排水等の水回りにトラブルはない。 4 ペットは飼っていない。

執行官の意見
1 目的物件の状況は、間取図及び添付写真のとおりである。 2 目的建物の占有及び占有状況等は、関係人の陳述及び立入調査の結果等から、2枚目記載のとおりと認めた。 3 関係人の陳述のとおり、洋室2の部屋の西側に子供の頭程度の穴と、同室の窓ガラスの下部に大きなひびが入っている。 4 目的物件は、西側で幅員約5.8mの建築基準法42条1項1号の市道に接している。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
令和8年5月11日（月） 15：30 — 15：50	目的物件所在地	外観調査・通知書投函・外観写真撮影
令和8年5月12日（火） 16：15 — 16：35	横浜地方法務局青葉出張所	接道及び近隣土地登記事項証明書交付申請・同交付 規約共用施設登記交付申請（登記なし）
令和8年5月18日（月） ： — ：	書面照会（ファクシミリ）	管理業者へ管理費額・滞納状況の照会書送付
令和8年5月23日（土） 8：20 — 8：45	目的物件所在地	Aと面談、占有及び使用状況等聴取・内部調査・写 真撮影・評価人同行
年 月 日（ ） ： — ：		
年 月 日（ ） ： — ：		
年 月 日（ ） ： — ：		
（特記事項） ☐ 平成 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 平成 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 平成 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

本図面は、A 3 判を A 4 判に縮小したものである

イ 1452-10
ロ 517-16

(座標値種別：図上測定) -24941.909



(座標値種別：図上測定)
(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面。土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。
(注) 国土交通省国土地院が公表した座標補正パラメータ(100hokutaiheiyoku2011.par)による修正がされています。

地番区域見出し
白山1丁目

請求部	所在	横浜市緑区白山一丁目				地番	364番2			
出力縮尺	1/500	精度区分	甲種	座標系番号又は記号	IX	分類	地図に準ずる図面		種類	地籍図
作成年月日	昭和57年3月				備付年月日(原図)			補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和8年2月6日
横浜地方税務局青葉出張所
登記官

(5 枚目)

請求番号：15-2
(1/1)



登記年月日：昭和55年7月30日

これは図面に記録されている内容を証明した電面である。
令和8年2月6日 横浜地方建設局建築出務所

登記簿

(6 枚目)

請求番号：15-1

471250

各階平面図

白山一丁目

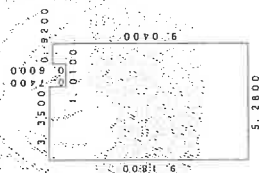
家屋番号 364-2-15

建物の所在 横浜市長区白山一丁目364番地2

建物図面図
各階平面図

区分した建物の存する部分 4階部分

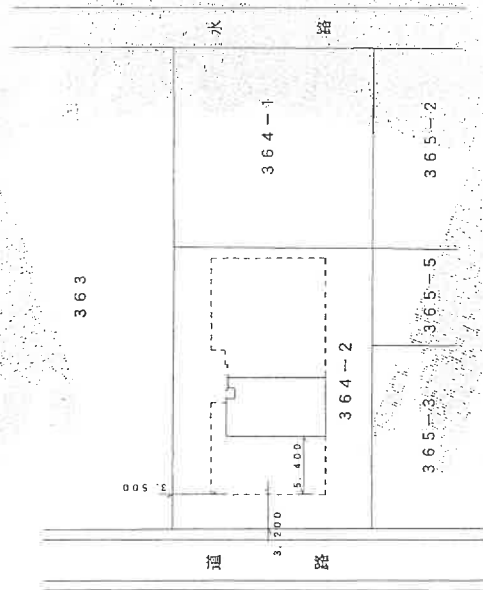
建物の番号 403



←○は写真撮影位置・方向

求積表

3.3500	×	0.7400	=	2.47900000
0.9200	×	0.6000	=	0.55200000
5.2800	×	8.4400	=	44.56320000
合計			床面積	47.59420000



作成者

申請人

縮尺

1/250

縮尺

1/500

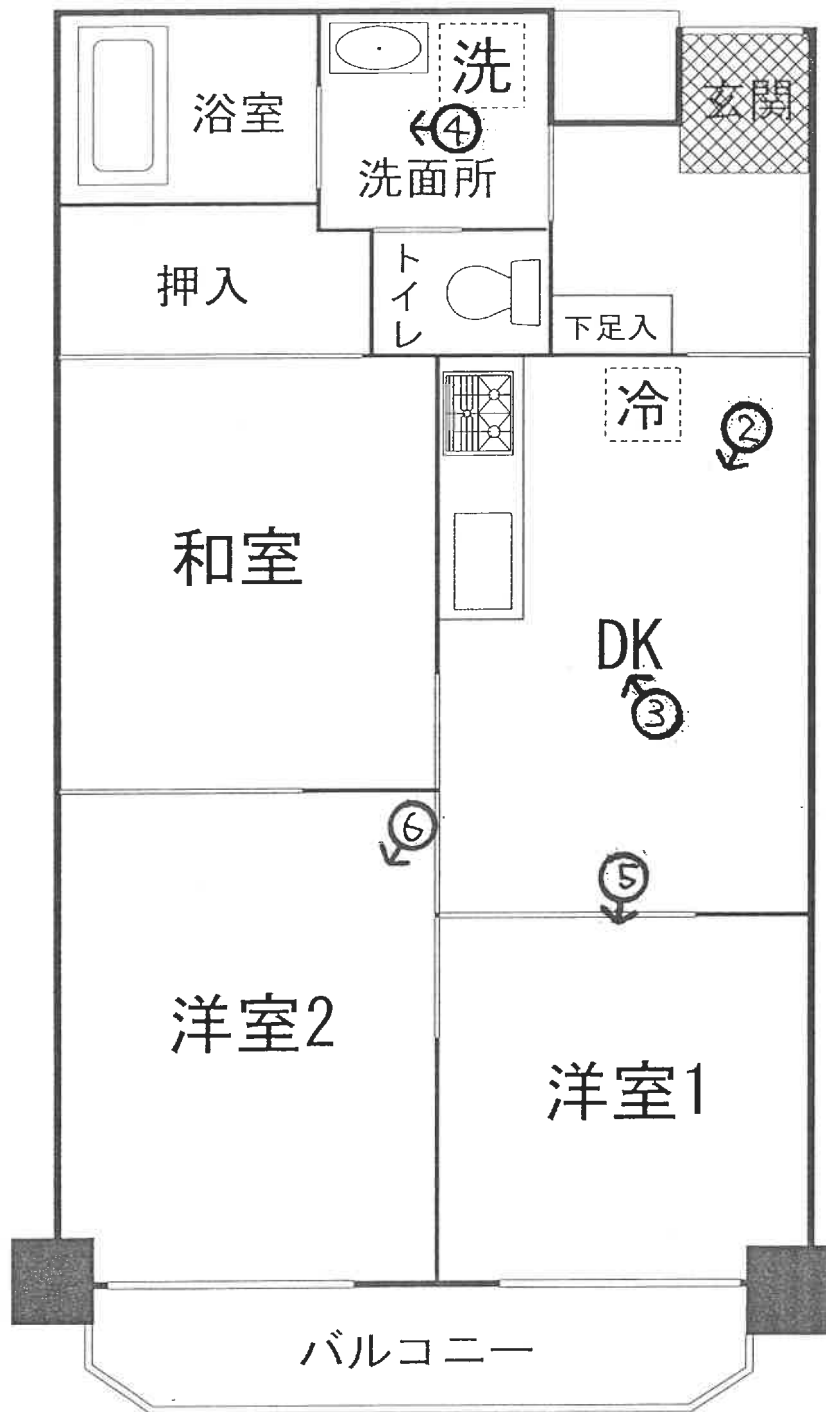
本図面は、A3判をA4判に縮小したものである

55 7 30

平成55年7月30日

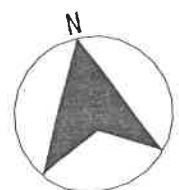
令和8年(ケ)第65号

簡取見取図



←○は写真撮影位置・方向

403号



①目的建物全景



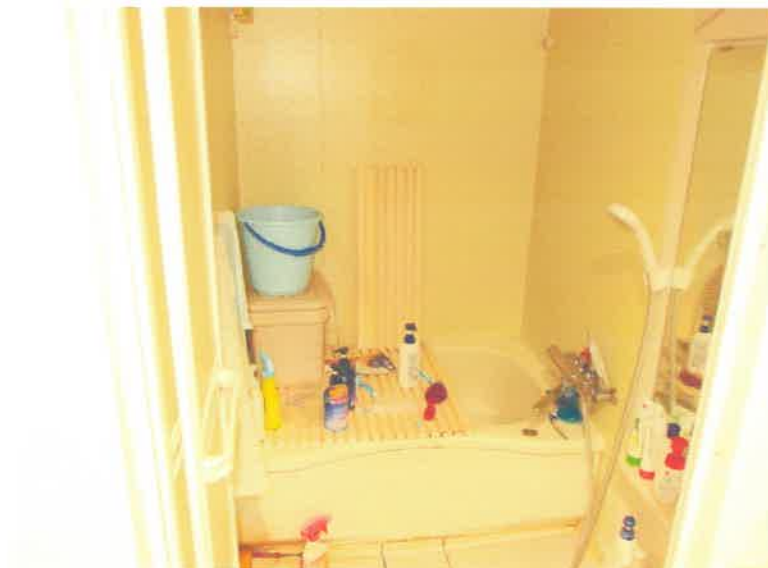
②リビング



③キッチン



④浴室



⑤洋室 1



⑥洋室 2





令和 8 年 (ケ) 第 65 号
令和 8 年 5 月 23 日 現地調査
令和 8 年 6 月 3 日 評 価

横浜地方裁判所

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

高橋 芳明

第 1 評価額

一 括 価 格 (合 計)	
金 7, 9 6 0, 0 0 0 円	
内 訳 価 格	
物 件 1 (土 地)	金 4, 5 0 0, 0 0 0 円
物 件 2 (建 物)	金 3, 4 6 0, 0 0 0 円

- 1 一括価格は、物件 1 及び 2 の各不動産について、一括売却（民事執行法第 61 条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件 1 の内訳価格は物件 2 のための敷地利用権等価格を控除した価格であり、物件 2 の内訳価格は当該敷地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は、内覧制度によるほか物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法 58 条 4 項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	登 記	現 況
1	次頁物件目録記載の通り	
2		住居表示：横浜市緑区白山一丁目 11番40－403号
特 記 事 項		
・売却対象物件 1 の対象は、共有者 A の持分1万分の554である。		

* 現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じである。

物 件 目 録

1 所 在 横浜市緑区白山一丁目
 地 番 364 番 2
 地 目 宅地
 地 積 462.55 平方メートル
 共有者 A 持分 10000 分の 554

2 (一棟の建物の表示)

所 在 横浜市緑区白山一丁目 364 番地 2
 構 造 鉄筋コンクリート造陸屋根 4 階建
 床 面 積 1 階 223.98 平方メートル
 2 階 223.98 平方メートル
 3 階 223.98 平方メートル
 4 階 223.98 平方メートル

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 白山一丁目 364 番 2 の 15
 建物の名称 403 号
 種 類 居宅
 構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建
 床 面 積 4 階部分 47.59 平方メートル
 所有者 A

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通	J R 横浜線「鴨居」駅の南西方約1km及びバス停留所「緑車庫前」約260m(各道路距離)に位置する。 (附属資料「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	平坦なエリアに作業所と中層のマンションが混在している住工混在地域。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 用 途 地 域 建 蔽 率 容 積 率 防 火 規 制 その他の規制	市街化区域 準工業地域 60% 200% 準防火地域 第5種高度地区、宅地造成等工事規制区域等
画 地 条 件 (規模, 形状等)	規 模	462.55㎡ (物件1の登記面積)
	形 状	長方形地
	間 口 ・ 奥 行	間口約18m、奥行約26m
	地 勢	地勢は、概ね平坦である。周囲の隣接地との高低差も概ね等高に接している。接面道路との関係は、以下の通りである。
接面道路の状況	西側幅員約5.8m舗装市道（鴨居第72号線・第42条1項1号）に接道長約18mで等高に接する中間画地である。	
土地の利用状況等	目的専有部分を含む1棟の建物（ライオンズマンション鴨居第2）の敷地等として利用されている。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道	事業者提供図面では西側市道に本管あり。
	都 市 ガ ス	事業者提供図面では西側市道に埋設管あり。
	下 水 道	事業者提供図面では西側市道に本管あり。
評 価 対 象 持 分	1万分の554（Aの共有持分）	
特 記 事 項	・横浜市発表のわいわい防災マップ（洪水、内水、高潮浸水想定区域）によれば、浸水想定区域、 $3.0 \leq \text{浸水深 (m)} < 5.0\text{m}$ （一部、北東側は、 $0.5 \leq \text{浸水深 (m)} < 3.0\text{m}$ ）に該当している。	

2 建物の概況（物件2）

（1）一棟の建物の概要

マンション名	ライオンズマンション鴨居第2	
建物の用途	住宅（16戸）（登記区分数を記載）	
建築時期及び経済的 残存耐用年数	建築年月日 経過年数 経済的残存耐用年数	昭和55年6月13日（登記記載） 約46年 約4年と判定
構造・延床面積	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 延べ 895.92㎡	
仕 様	屋 根：アスファルト露出防水等 外 壁：吹付タイル その他：特になし	
設 備	集合郵便受、ゴミ置場、駐輪場及びテレビ共同視聴設備等	
建物の品等	使用資材 施 工	普 通 普 通
管理の形態等	管理組合 管理方式 管理会社名 管理形態	有り 委託 株式会社大京アステージ町田支店 巡回
管理の状況	普 通	
特 記 事 項	1. エレベーター、オートロックが無い。 2. 建築確認申請（計画通知）台帳記載証明書の記載内容は以下の通りである。 建築確認申請受付番号・年月日： 54緑2160・昭和54年10月15日 検査済証交付年月日：昭和55年7月1日	

(2) 専有部分の概要

構 造	鉄筋コンクリート造1階建		
位 置	4階(403号室)・中間住戸、主要開口部の方位：南向き		
床 面 積	47.59㎡（登記面積）		
間 取 り	3DK		
バルコニー等	あ り … 約5㎡		
仕 様	天 井 床 内 壁 設 備 そ の 他	塩ビクロス等 フローリング、畳等 塩ビクロス等 キッチン、浴室、トイレ及び押入等 特になし	
保守管理の状態	やや劣る		
管 理 費 等	管理会社の回答によれば下記の通り。 令和8年5月20日現在		
		月 額	滞 納 額
	管 理 費	9,900 円	227,700 円
	修繕積立金	10,890 円	250,470 円
	—	—	—
	備 考	滞納期間：令和6年7月分から令和8年5月分	
専 有 部 分 の 利 用 状 況 等	令和8年5月23日：内部立入調査 売却対象物件の所有者Aの占有である。		
特 記 事 項	1. 壁紙、天井及び床等については、経年劣化が認められた。 2. 建物の建築年等を考慮すると今後、設備等の故障、不具合発生の可能性を有している。 3. 洋室2のサッシにひびがあった。		

第5 評価額算出の過程

本件においては積算価格、比準価格及び収益価格をそれぞれ求め、試算価格を調整の上、評価額を後記の通り決定した。

1 積算価格の試算

(1) 基礎となる価格

① 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次の通り求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡)	個別 格 差	更地価格 (円/㎡)	地 積 (㎡)	建 付 減 価	共 有 持 分	建付地価格 (円)
1	209,000	×1.20	251,000	× 462.55	×1.00	$\times \frac{554}{10,000}$	= 6,430,000

標準画地価格：標準画地価格は下記の規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して決定した。

地価公示地等：横浜緑9-2

$$\begin{array}{ccccccc}
 & & & \text{標準化} & & & \\
 \text{地価公示価格等} & \text{時点修正} & \text{補 正} & \text{地域格差} & \text{標準画地価格} & & \\
 183,000 \text{ 円/㎡} & \times \frac{103}{100} & \times \frac{100}{100} & \times \frac{100}{90} & = & 209,000 \text{ 円/㎡} &
 \end{array}$$

◇時 点 修 正：令和8年1月1日から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：標準的で必要なし。

◇地 域 格 差：地価公示地の所在する地域は対象地域に比べ交通接近条件、環境条件、街路条件、行政条件等の総合格差で上記の通り。

◇個別格差：画地条件（規模及びマンション地としての流動性）等の総合格差で上記の通り。

◇地 積：登記数量

◇建付減価：建付減価率0%と判定した。

◇共有持分：区分所有建物の対象として、共有者Aの登記上の持分1万分の554

② 建物価格（物件 2）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向等を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて建物価格を求めた。

再調達原価 (円/㎡)	専有面積 (㎡)	専有率	現価率	建物価格 (円)
300,000	× 47.59	÷ 0.93	× 0.06	= 920,000

専有率：共用部分も含む現況床面積に対する割合

現価率：経過年数 46 年、経済的残存耐用年数 4 年

：観察減価率（中古マンションの市場性及び経年劣化、設備の不具合発生の可能性等を考慮）20%

：耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を下記の通り査定した。

$$\text{現価率} = \frac{\text{経済的残存耐用年数 4 年}}{(\text{経過年数 46 年} + \text{経済的残存耐用年数 4 年})} \times (1 - 0.2) = 0.06$$

(2) 敷地利用権等価格

建付地価格に敷地利用権等割合を乗じて、敷地利用権等価格を求めた。

物件 番号	建付地価格（円）	敷地利用権等割合		敷地利用権等価格（円）
1	6,430,000	× 0.4	場所的利益	= 2,570,000
合 計				2,570,000

敷地利用権等割合：敷地利用権等を場所的利益と判定し、その割合を 40%と査定した。

(3) 積算価格

基礎となる価格に、土地については敷地利用権等価格を控除し、建物については敷地利用権等価格を加算し、個別格差を勘案の上、下記の通り積算価格を求めた。

物件 番号	基礎となる 価格（円）	敷地利用権等 価格の控除及 び加算（円）	個別 格差	積算価格 （円）	価格割合
1	6,430,000	－ 2,570,000	× 0.98	= 3,780,000	52.5%
2	920,000	＋ 2,570,000		= 3,420,000	47.5%
一括価格（合計）				7,200,000	100.0%

個別格差：階層別補正、位置別補正などの総合格差で上記の通り

階層別補正：0.98（2階基準（エレベーターなし）の場合の4階）

位置別補正：1.00（中間住戸・南開口）

その他補正：1.00

相 乗 積：0.98 × 1.00 × 1.00 = 0.98

2 比準価格の試算

基準階の比準 価格（円/㎡）	個別格差 （階層・位置・品等程度）	その他の 個別格差	専有面積 （㎡）	比準価格(円)
300,000	× 0.98	× 1.00	× 47.59	= 13,990,000

基準階の比準価格：近隣地域・同一需給圏内の類似地域にある同類型の区分所有建物の取引事例等を収集・分析し、各種補正及び価格形成要因の比較を行って、基準階専有部分の1㎡当たりの比準価格を査定した。

個 別 格 差：積算価格の個別格差に同じ。

その他の個別格差：必要なし。

3 収益価格（DCF法による）

目的物件を賃貸することにより分析期間中に得られるであろうと予測される正味純収益の現価の合計額に、分析期間末の正味復帰価格の現価を加算して、DCF法（Discounted Cash Flow 法）による価格を以下の通り査定した。

DCF法による価格査定表

（この表で採用している数字や指数は確定値ではなく、且つ買受人に保証しているものでもない）

3年間の 有効純収益 現価の合計 (円)	正味復帰価格の現価					DCF法 による価格 (円)
	4年目 期首有効純 収益 (円)	最終 還元 利回 り	3年目期末 復帰価格 (円) $\text{イ} \div \text{ウ} \times (1 - 0.03)$ ※1	複利 現価率 ※2 (8.9%)	正味復帰 価格の現価 (円) $\text{エ} \times \text{オ}$	
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	$\text{ア} + \text{カ} = \text{キ}$ キ
1,510,522 (18.2%)	850,920	9.4%	8,780,700 ≒ 8,780,000	0.7743	6,798,354 (81.8%)	8,308,876 ≒ 8,310,000 (100%)

※1 売却に要する仲介手数料等を売却価格（イ÷ウ）の3%と査定した。

※2 複利現価率：複利現価率に用いる還元利回りは一般市場における収益物件の標準的な還元利回りを基準として決定した。

ア：目的物件を賃貸することにより保有期間中（第1期～第3期）に得られるであろうと予測した各期の正味純収益を現在価値に割り引いた額の合計である。

イ：保有期間末（第4期期首）の正味純収益である。売却準備完了後の目的物件の収益力を明示している。

ウ：4年目の正味純収益から売却予測価格を求める還元利回りであり、標準的還元利回りに目的物件の個別リスクを考慮して査定した。

エ：4年目の正味純収益を最終還元利回りで還元して求めた売却予測価格から目的物件の売却に伴う仲介手数料相当額を控除した額である。

オ：一般市場及び競売市場における類型別収益物件の標準的な還元利回り等を参考に査定した。

カ：売却予測価格の手取り価格に複利現価率を乗じて（割り引いて）求めた売却予測価格（手取り価格）の現在価値である。

キ：保有期間中の正味純収益の現価の合計（ア）に売却予測価格の現価（カ）を合算して、目的物件のDCF法による収益価格を結論付けている。

4 評価額の判定

(1) 試算価格の調整

以上により積算価格、比準価格、収益価格が求められた。マンション取引が多くみられることから市場の実勢を反映した比準価格を重視し、間取り、規模等を考慮すると自用目的で取得することが想定されることから積算価格を関連づけ、収益価格を参考として、所要の調整を行った上、調整後の価格を以下の通り求めた。

加重平均割合 積算価格：40 比準価格：50 収益価格：10

	占有減価修正前の 試算価格（円）	占有減価 修正	試算価格（円）
積 算 価 格	7,200,000	× 1.00	= 7,200,000
比 準 価 格	13,990,000	× 1.00	= 13,990,000
収 益 価 格			8,310,000
調整後の価格			10,710,000

※ 占有減価修正：必要なし。

(2) 調整後の価格の各物件に対する案分

調整後の価格を積算価格の価格割合で各物件に案分し、下記の通り案分後の価格を求めた。

物件 番号	調 整 後 の 価 格 (円)	価格割合	案分後の価格（円）
1	10,710,000	52.5%	= 5,620,000
2		47.5%	= 5,090,000

(3) 内訳価格及び一括価格

案分後の価格に、市場性修正及び競売市場修正を施し、更に滞納管理費等相当額の減価を考慮して評価額を求めた。

物件 番号	案分後 の価格 (円)	市場性 修 正	競売市場 修 正	滞納管理費等相 当額の減価	評 価 額 (円)
1	5,620,000	× 1.00	× 0.8	× —	= 4,500,000
2	5,090,000	× 1.00	× 0.8	× 0.85	= 3,460,000
	一 括 価 格 (合 計)				7,960,000

市 場 性 修 正：必要なし。

競売市場修正：評価条件記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

滞納管理費等相当額の減価：滞納管理費等の控除割合は、管理費・修繕積立金滞納額元本のみを基礎として15%と求めた。

第6 参考価格資料

1 地価公示等：横浜緑9－2

所 在：横浜市緑区白山1丁目565番1「白山1-16-2」

価 格：183,000円/㎡

位 置：JR横浜線「鴨居」駅1.4km

価 格 時 点：令和8年1月1日

地 積：10,289㎡

供給処理施設：水道、ガス、下水

接 面 道 路：西側12m市道、北側側道

用途指定等：工業地域(建蔽率60%，容積率200%)

防火・準防火：準防火地域

地域の概要：研究所、事業所が立ち並ぶ工業地域

2 固定資産税評価額（令和7年度）

物件1（土地） 63,831,900円（A共有持分1万分の554）

物件2（建物） 2,043,503円

第7 附属資料の表示

位置図

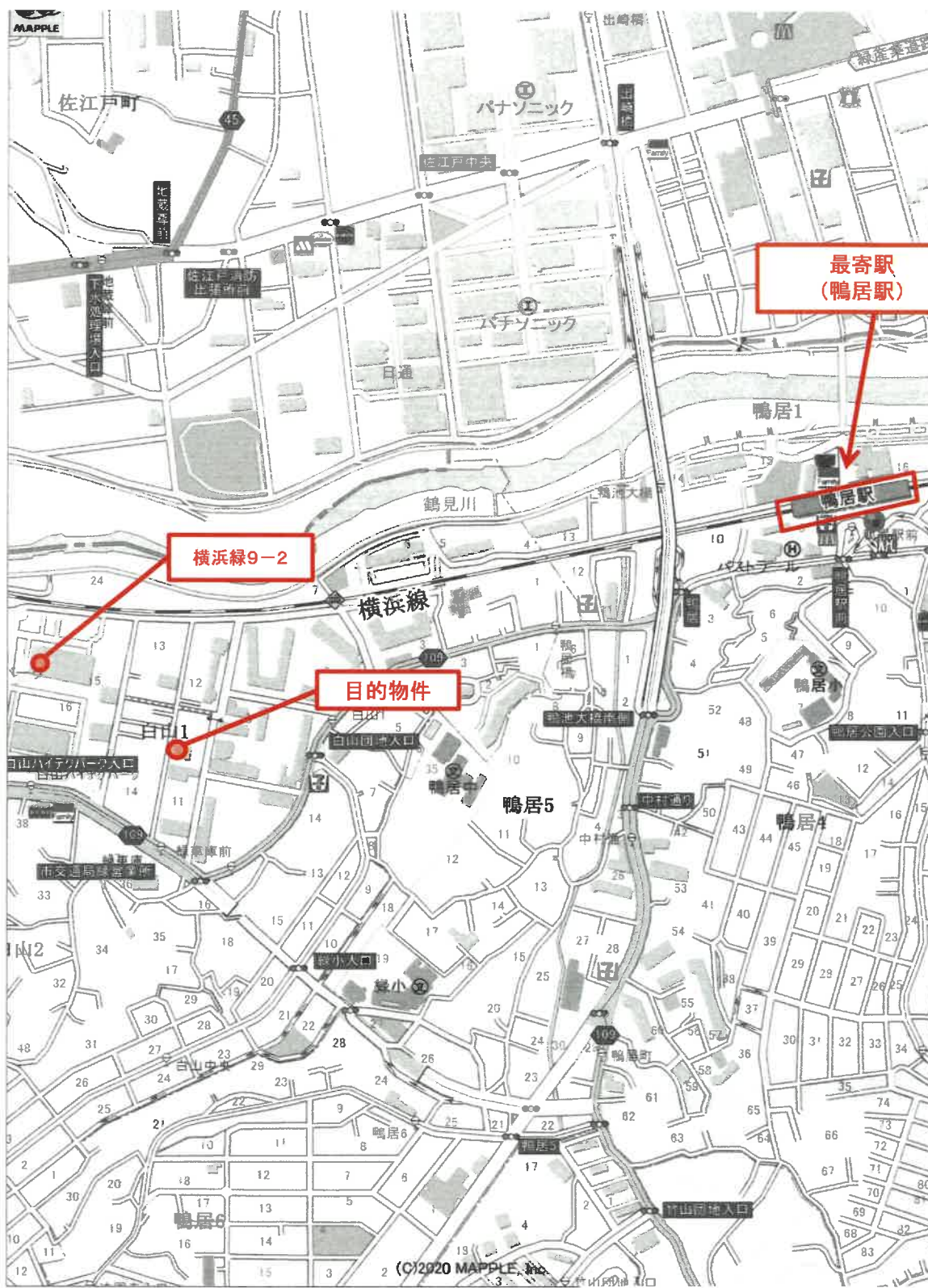
公図写

建物図面・各階平面図写

建物間取図

以 上

株式会社 マップル スーパーマップル・デジタル(地図使用承認© マップル第7-337号)



1 : 7,000 相当

※但し、パソコン読込の関係で、若干の拡大・縮小が生じている可能性がある。





これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和8年2月6日 横浜地方法務局青葉出張所

請求番号：15-1

各階平面図

圖面
圖面
物平
階平
建各

家庭番号 364-2-15

横浜市緑区白山…丁目364番地2

区分した建物の存する部分 4階部分

建物の番号 403

物件2

求積表

3,3500	X	0.7400	2.47900000
0.9200	X	0.6000	0.55200000
5.2800	X	3.4400	44.66320000
合 計			47.59420000
床面積			47.59㎡

作者

(種別)

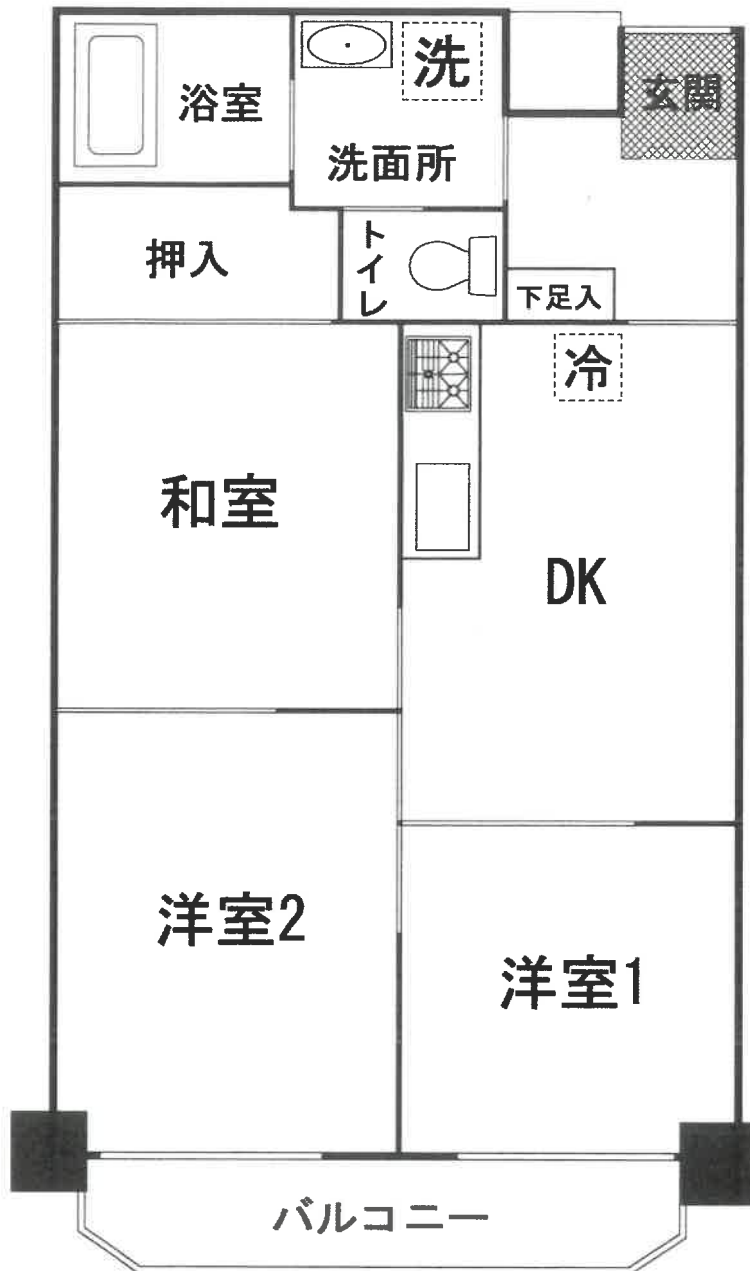
縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

(神奈川県土地家屋調査士会)

原図より70%縮小



403号

